

【解答例】

(I)

- 問1 クリム＝ハン国は長くオスマン帝国の宗主権下にあったが、ロシア＝トルコ戦争に敗れて宗主権が放棄されると、ロシアがクリム＝ハン国を支配し、その傀儡としてギライが統治した。その後、ロシアがクリム＝ハン国を併合して黒海北岸を領有して黒海の制海権を獲得すると、オスマン帝国はギライをスルタンへの反逆者とみなして処刑した。(155字)
- 問2 イヴァン3世時代にキプチャク＝ハン国の支配を脱したモスクワ大公国は、イヴァン4世時代にカザン＝ハン国を併合し、イェルマークの協力でシビル＝ハン国を征服して東方へ領土を拡大した。ツァーリの称号を継承してロシアを支配したロマノフ朝はシベリア東部に進出し、ピョートル1世は清の康熙帝とネルチンスク条約を結び国境を画定した。(158字)

(II)

- 問1 エ
- 問2 明代初期は農業主体の経済で商工業の発展が停滞していたうえ、海禁の影響により中国産陶磁器の流通が減少した。(52字)
- 問3 豊臣秀吉の侵攻によって朝鮮半島から多くの陶工が日本に連行され、陶磁器技術が伝わった。清が鄭氏台湾の孤立を目的に発した遷界令による海禁の影響で中国産磁器の輸出が減少すると、その代替製品として日本産磁器が注目され、江戸幕府と貿易関係にあったオランダの東インド会社による中継貿易を通じて、有田焼が世界各地に輸出された。(156字)
- 問4 ウ

(III)

- 問1 澶淵の盟
- 問2 イ
- 問3 唐の滅亡後、モンゴル高原で契丹が建国された。後晋の建国を支援した契丹は、代償に燕雲十六州を得て華北の一部を領有した。後周がその一部を奪還したが契丹との対立は激化し、文治主義で軍事力が衰えた北宋は和平策に転じた。(105字)
- 問4 契丹との和平で交易が盛んになり経済発展を遂げた北宋は、西夏とも同様の盟約を結んだが歳幣による財政負担が増大したため、王安石の改革につながった。また、周辺民族による圧迫を背景に華夷の別が強調されるようになった。(103字)